

# 豪雨災害からの復旧・復興に向けて ～県議会の取り組み～

本県に甚大な被害をもたらした昨年7月の九州北部豪雨災害から7カ月が経過しました。県議会では、発災直後から、議長と知事の連名で内閣総理大臣に対して激甚災害法の適用(※注)をはじめあらゆる支援措置を要望する緊急申し入れを行ったほか、関係省庁等に対して緊急要望を行いました。その後、国において全国で初めて今回の災害復旧事業の適用拡充について採択されるなど、復旧・復興事業が迅速化される予定です。

県議会では、9月定例会と12月定例会において、豪雨災害からの復旧・復興対策に充てる合計1,000億円を超える補正予算を審議、可決しました。

今回の災害で県内で発生した流木の総量は20万トン以上と推計され、このうち道路上と緊急工事が必要な河川での流木の撤去はほぼ完了しました。残る流木は平成30年度末を目標に処理を完了させることとしています。

また、避難所に避難されていた被災者の方も11月までに全員退去され、避難所は全て閉鎖されましたが、今なお多くの方が仮設住宅などで避難生活を続けておられます。

復興はまだ緒についたばかりです。県議会では、引きつづき委員会活動や会派の災害復旧・復興推進本部等を通して、県執行部と一体となって被災者の生活支援や公共土木施設の復旧等を推進し、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて取り組んでまいります。

(※注)激甚災害とは…大規模な地震や水害など著しい被害を及ぼした災害で、被災者や被災地域に財政援助を特に必要とするもの。激甚災害法に基づいて政令で指定される。指定されると国の災害復旧事業の補助金が上積みされ、被災地の早期復旧が図られる。



発災直後の国道386号線(朝倉市)



復旧が進む水田(朝倉市)

## 【全国都道府県議会議長会】

7月25日の定例総会において、「台風3号及び九州北部豪雨による災害に関する決議」を可決。この決議は被災県の一つである本県が原案を作成し、九州各県議会議長会の会長県(長崎県)が九州各県の意見を集約して九州議長会から全国議長会へ提出したもので、翌26日に全国議長会として政府・与党へ要望活動を行った。

## 【豪雨災害復旧・復興対策に係る補正予算を審議・可決】

<9月補正予算> 約643億1000万円 ※豪雨災害の復旧・復興対策分のみ

### ■被災者の生活支援

- 被災者の応急救助を実施 11億526万9千円
- 応急仮設住宅を提供 11億1217万2千円

### ■商工業者・農林漁業者の支援

- 中小企業への金融支援を強化 5175万円
- 被災地の観光復興を支援 1億92万1千円
- 伝統的工芸品産業の復興を支援 450万円
- 農林漁業者・畜産農家・小規模事業者の事業継続を支援 11億7706万8千円
- 被災地の物産や農林水産物の販売を支援 1438万6千円 など

### ■公共土木施設等の復旧・復興

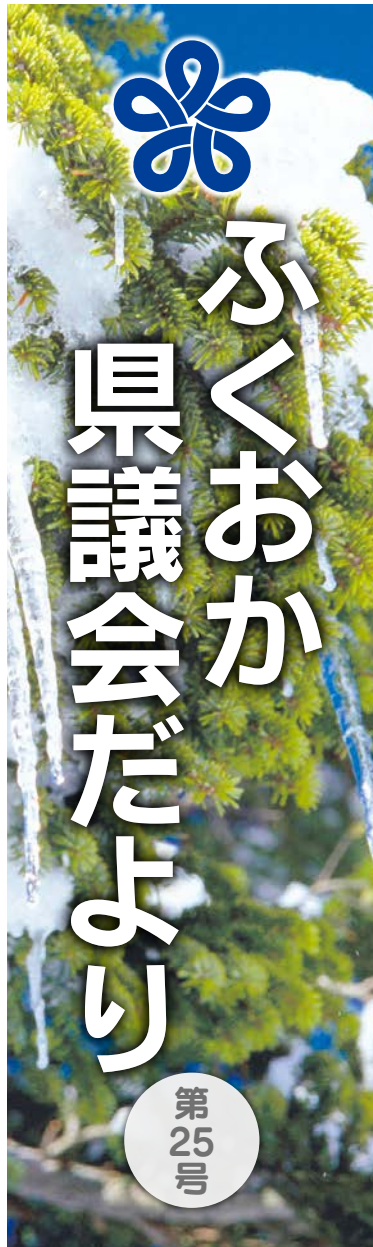
- 被災した道路や河川、施設などの復旧を加速化 448億2246万6千円
- 災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止 136億2209万8千円 など

<12月補正予算> 約365億8800万円 ※豪雨災害の復旧・復興対策分のみ

- 公共土木施設の改良復旧を加速化 365億2428万円
- 復興支援地域商品券による地域経済の活性化を支援 6134万3千円
- 被災した国指定文化財の復旧を支援 276万9千円

## 【皆さんからお寄せいただいた義援金について】

今回の災害にあたり、皆さんから県等へ寄託された義援金は11月末までに31億3305万2578円にのぼり、このうち1月12日までに30億4590万7089円を、福岡県義援金配分委員会で決定した配分基準に基づいて被災市町村へ配分しています。



第25号

福岡県議会ホームページ▶  
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp>  
 携帯電話向けサイト▶  
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>



道路の改良復旧工事例



計報  
 吉原太郎議員(嘉麻市選出・自民党  
 県議団・第52代県議会議長)が平成  
 30年1月20日にご逝去されました。  
 心よりご冥福をお祈りいたします。

## 平成二十九年十二月 定例会の概要

12月定例会は12月1日に招集され、12月20日まで20日間の会期で審議が行われました。今定例会には九州北部豪雨災害の復旧・復興対策などの補正予算議案3件に加え、「特定大規模災害等に対処するための特殊勤務手当の特例に関する条例の制定について」など条例議案15件、工事請負契約の締結に関する議案4件、人事に関する議案1件、その他の議案10件、計33件の議案が提出されました。代表質問においては、九州北部豪雨災害の復旧・復興対策や農林水産問題、環境問題、保健医療介護問題、福祉労働問題、教育問題など県政全般にわたり活発な議論が交わされました。また、度重なる職員の不祥事に関しても、再発防止に向け厳しい意見が相次ぎました。審議の結果、提出された議案33件については、いずれも原案のとおり可決または同意されました。また、任期満了に伴う福岡県選挙管理委員会および補充員の選挙を行い、委員4人、補充員4人が当選されました。